

第 46 回大阪市環境審議会 議事要旨

日 時：令和 7 年 8 月 18 日（月）15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：環境局 第 1・2 会議室（一部委員は WEB にて参加）

議 題：

- （１）大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の改定について
- （２）「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の中間見直しについて
- （３）その他

出 席 者：

（委員）下田会長、今西会長代行、石川委員、岩崎委員、岸本委員、鈴木委員、田中委員、
辻岡委員、春名委員、日裏委員、藤田委員、松井委員、松本委員、雪本委員
（事務局等）井原環境局長、井上環境局理事兼エネルギー政策室長、
河合環境施策部長、北浦エネルギー政策担当部長、金子環境管理部長、
川戸環境施策課長、大谷エネルギー政策担当課長、阿部土壌水質担当課長 他

配付資料：次第

配席図

大阪市環境審議会委員名簿

資料 1－1・1－2

大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の改定について

資料 2－1・2－2

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の中間見直しについて

【議事要旨】

- ・資料 1－1・1－2 により、大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の改定について、事務局が説明を行い、本日の委員意見を踏まえて改定計画（案）を作成することが確認された。
- ・資料 2－1 により「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の中間見直しについて、事務局が見直しの内容や方向性等について説明を行い、意見をいただいた。
- ・資料 2－2 により、事務局が部会の設置、委員、部会長の選任等について提案を行い、承認いただいた。

【委員意見】

大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の改定について

○新たな脱炭素施策においては、2030 年度目標に向けて実施する取組と、それ以降の取組との 2 本立てにされたい。

- 50 億といってもそれで大阪市が完全に脱炭素ができるかというと、将来的には市民の意識を上げていかないといけない。ぜひこの対策全般に対して大阪市が積極的にやっているなということが多くの人に伝わるようにしていただきたい。
- 中小企業に対する省エネルギーの指導や補助等の取り組みが必要である。
- ネットショッピング利用時には再配達を防ぐ等、市民啓発も重要。
- 市民の健康維持の視点からも、住宅の断熱・気密はしっかりと進めていただきたい。
- 地球温暖化に対する市民意識の向上に加え、行動に結びつけさせることが重要である。
- プラスチックの焼却量を減らすだけでなく、消費量や排出量そのものを削減することも重要である。
- ペロブスカイトの普及促進については、新エネルギーの分野だけではなく、福祉や健康等の他分野との連携や、産学との連携が重要である。
- 市民が環境の取組をすすめることがすなわち、市民のライフスタイルやまちづくりに結びついているというメッセージを強く打ち出されたい。

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の中間見直しについて

- 「水環境」について、上流域も含めて目標としているのか分からないため、市民に対して誤解されないようにしてもらいたい。